

株式会社麻生交通 安全に関する規定

[運輸安全にかかわる情報公開について\(PDF\)](#)

[安全管理規程\(PDF\)](#)

[運輸安全報告\(PDF\)](#)

[運輸安全マネジメント・社内組織\(PDF\)](#)

[重大事故等発生時の連絡体制表\(PDF\)](#)

輸送の安全にかかわる情報の公表について

安全マネジメントに係る情報の公開については、旅客自動車運送事業運輸規則第2条の2の規定に基づき、輸送の安全にかかわる情報を公表します。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

当社では、最大の責務である「輸送の安全の確保」に関する基本方針として「安全方針」を定め、その実施により全社員が一丸となって安全・快適な輸送サービスに努めています。

また、輸送の安全に関する情報については積極的に公表します。

2. 輸送の安全に関する重点施策

○輸送の安全の確保をすべてにおいて最優先します。

○関係法令、規則を遵守し安全安心第一に職務を遂行します。

○輸送マネジメントを確実に実行し、全社員が一丸となって業務の遂行をすることにより絶えず輸送の安全の向上に努めます。

○健康管理の取り組みを推進します。

3. 輸送の安全に関する目標及びその達成状況

(1) 2022年度(4/1～3/31)の目標と達成状況

・目標

交通事故ゼロ・重大事故ゼロ・人身事故ゼロ

・達成状況

交通事故件数 0件 重大事故件数 0件 人身事故件数 0件

目標達成

(2) 来年度の目標

交通事故ゼロ・重大事故ゼロ・人身事故ゼロ

4. 事故に関する件数

2022年度(4/1～3/31)、自動車事故報告規則により報告した事故は0件。

5. 安全管理規程

別途ホームページにて公表

6. 輸送の安全のため講じた措置及び講じようとする措置

法令順守を第一に、交通違反・飲酒運転・脇見運転なしの徹底。

又、シートベルトの完全着用、着席確認後の発車の徹底など、お客様の安心安全を第一に考えた運行の徹底。

7. 輸送の安全に係わる情報の伝達体制その他の組織体制

別紙のとおり

8. 輸送の安全に係わる教育及び研修の実施状況

「旅客自動車運送事業者が事業用自動車運転者に対して行う指導及び監督の指針」が根拠法令となり、13項目の内容指導について年1～2回の班別教育指導の実施とする。

又その他、必要に応じて実施する。

9. 輸送の安全に係わる内部監査の結果

基本方針及び重点施策を引き続き実施。

10. 安全統括管理者に係わる情報

別紙のとおり

11. 事業用自動車の運転者、運行管理者、整備管理者に係わる情報

別紙のとおり

12. 事業用自動車に係わる情報

別紙のとおり

株式会社麻生交通 安全管理規程

目次

- 第一章 総則
- 第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等
- 第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制
- 第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法

第一章 総則

(目的)

- 第一条 この規程（以下「本規程」という。）は、道路運送法（以下「法」という。）第二十二條の二の規定に基づき、輸送の安全を確保するために遵守すべき事項を定め、もって輸送の安全性の向上を図ることを目的とする。

(適用範囲)

- 第二条 本規程は、当社の乗合バス及び貸切バス事業に係る業務活動に適用する。

第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等

(輸送の安全に関する基本的な方針)

- 第三条 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる。
- 2 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan Do Check Act）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

(輸送の安全に関する重点施策)

- 第四条 前条の輸送の安全に関する方針に基づき、次に掲げる事項を実施する。
- 一 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守すること。
 - 二 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること。
 - 三 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じること。
 - 四 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有すること。
 - 五 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に

実施すること。

- 2 持ち株会社及び傘下のグループ企業が密接に協力し、一丸となって輸送の安全性の向上に努める。

(輸送の安全に関する目標)

第五条 第三条に掲げる方針に基づき、目標を策定する。

(輸送の安全に関する計画)

第六条 前条に掲げる目標を達成し、輸送の安全に関する重点施策に応じて、輸送の安全を確保するために必要な計画を作成する。

第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制

(社長等の責務)

第七条 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を有する。

- 2 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、予算の確保、体制の構築等必要な措置を講じる。
- 3 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、安全統括管理者の意見を尊重する。
- 4 経営トップは、輸送の安全を確保するための業務の実施及び管理の状況が適切かどうかを常に確認し、必要な改善を行う。

(社内組織)

第八条 次に掲げる者を選任し、輸送の安全の確保について責任ある体制を構築し、輸送の安全を確保するための企業統治を適確に行う。

- 一 安全統括管理者
- 二 運行管理者
- 三 整備管理者
- 四 その他必要な責任者

- 2 安全統括管理者（責任者）は、安全統括管理者の命を受け、輸送の安全の確保に関し、各営業所長を統括し、指導監督を行う。
- 3 各営業所長は、安全統括管理者（責任者）の命を受け、輸送の安全の確保に関し、営業所内を統括し、指導監督を行う。
- 4 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統については、安全統括管理者が病気等を理由に本社に不在である場合や重大な事故、災害等に対応する場合も含め、別に定める組織図による。

(安全統括管理者の選任及び解任)

第九条 取締役のうち、旅客自動車運送事業規則第四十七条の五に規定する要件を満たす者の中から安全統括管理者を選任する。

- 2 安全統括管理者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、当該管理者

を解任する。

- 一 国土交通大臣の解任命令が出されたとき。
- 二 身体の故障その他のやむを得ない事由により職務を引き続き行うことが困難になったとき。
- 三 関係法令等の違反又は輸送の安全の確保の状況に関する確認を怠る等により、安全統括管理者がその職務を引き続き行うことが輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがあると認められるとき。

(安全統括管理者の責務)

第十条 安全統括管理者は、次に掲げる責務を有する。

- 一 全社員に対し、関係法令等の遵守と輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底すること。
- 二 輸送の安全の確保に関し、その実施及び管理の体制を確立、維持すること。
- 三 輸送の安全に関する方針、重点施策、目標及び計画を誠実に実施すること。
- 四 輸送の安全に関する報告連絡体制を構築し、社員に対し周知を図ること。
- 五 輸送の安全の確保の状況について、定期的に、かつ必要に応じて、随時、内部監査を行い、経営トップに報告すること。
- 六 経営トップ等に対し、輸送の安全の確保に関し、必要な改善に関する意見を述べる等必要な改善の措置を講じること。
- 七 運行管理が適正に行われるよう、運行管理者を統括管理すること。
- 八 整備管理が適正に行われるよう、整備管理者を統括管理すること。
- 九 輸送の安全を確保するため、社員に対して必要な教育又は研修を行うこと。
- 十 その他の輸送の安全の確保に関する統括管理を行うこと。

第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法

(輸送の安全に関する重点施策の実施)

第十一条 輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、輸送の安全に関する目標を達成すべく、輸送の安全に関する計画に従い、輸送の安全に関する重点施策を着実に実施する。

(輸送の安全に関する情報の共有及び伝達)

第十二条 経営トップと現場や運行管理者と運転者等との双方向の意思疎通を十分に行うことにより、輸送の安全に関する情報が適時適切に社内において伝達され、共有されるように努める。また、安全性を損なうような事態を発見した場合には、看過したり、隠蔽したりせず、直ちに関係者に伝え、適切な対処策を講じる。

(事故、災害等に関する報告連絡体制)

第十三条 事故、災害等が発生した場合における当該事故、災害等に関する報告連絡体制は別に定めるところによる。

- 2 事故、災害等に関する報告が、安全統括管理者、経営トップ又は社内の必要な部局等に速やかに伝達されるように努める。
- 3 安全統括管理者は、社内において報告連絡体制の周知を図るとともに、第一項の報告連絡体制が十分に機能し、事故、災害等が発生した後の対応が円滑に進むよう必要な指示等を行う。
- 4 自動車事故報告規則（昭和二十六年運輸省令第百四号）に定める事故、災害等があった場合は、報告規則の規定に基づき、国土交通大臣へ必要な報告又は届出を行う。

（輸送の安全に関する教育及び研修）

第十四条 第五条の輸送の安全に関する目標を達成するため、必要となる人材育成のための教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、着実に実施する。

（輸送の安全に関する内部監査）

第十五条 安全統括管理者は、自ら又は安全統括管理者が指名する者を実施責任者として、安全マネジメントの実施状況等を点検するため、少なくとも一年に一回以上、適切な時期を定めて輸送の安全に関する内部監査を実施する。

また、重大な事故、災害等が発生した場合又は同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合その他特に必要と認められる場合には、緊急に輸送の安全に関する内部監査を実施する。

- 2 安全統括管理者は、前項の内部監査が終了した場合はその結果を、改善すべき事項が認められた場合はその内容を、速やかに、経営トップに報告するとともに、輸送の安全の確保のために必要な方策を検討し、必要に応じ、当面必要となる緊急の是正措置又は予防措置を講じる。

（輸送の安全に関する業務の改善）

第十六条 安全統括管理者から事故、災害等に関する報告又は前条の内部監査の結果や改善すべき事項の報告があった場合若しくは輸送の安全の確保のために必要と認める場合には、輸送の安全の確保のために必要な改善に関する方策を検討し、是正措置又は予防措置を講じる。

- 2 悪質な法令違反等により重大事故を起こした場合は、安全対策全般又は必要な事項において現在よりも更に高度の安全の確保のための措置を講じる。

（情報の公開）

第十七条 輸送の安全に関する基本的な方針、輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況、自動車事故報告規則第二条に規定する事故に関する統計、安全管理規程、輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置、輸送の安全に係る情報の伝達体制及びその他の組織体制、輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況、輸送の安全に関する内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置、安全統括管理者に係る情報について、毎事業度の経過後百日以内に外部に対し公表する。

- 2 事故発生後における再発防止策等、行政処分後に輸送の安全の確保のために講じた改善状況について国土交通省に報告した場合には、速やかに外部に対し公表する。

(輸送の安全に関する記録の管理等)

第十八条 本規程は、業務の実態に応じ、定期的に及び適時適切に見直しを行う。

- 2 輸送の安全に関する事業運営上の方針の作成に当たっての会議の議事録、報告連絡体制、事故、災害等の報告、安全統括管理者の指示、内部監査の結果、経営トップに報告した是正措置又は予防措置等を記録し、これを適切に保存する。
- 3 前項に掲げる情報その他の輸送の安全に関する情報に関する記録及び保存の方法は別に定める。

付 則

(実施期日)

本規則は令和2年11月18日から適用する。

運輸安全報告書

令和5年4月1日
株式会社 麻生交通

弊社は、輸送の安全を確保するために、以下の通り全職員が一丸となって運輸安全マネジメントに取り組んでまいります。

安全運輸マネジメントに関する基本的な方針

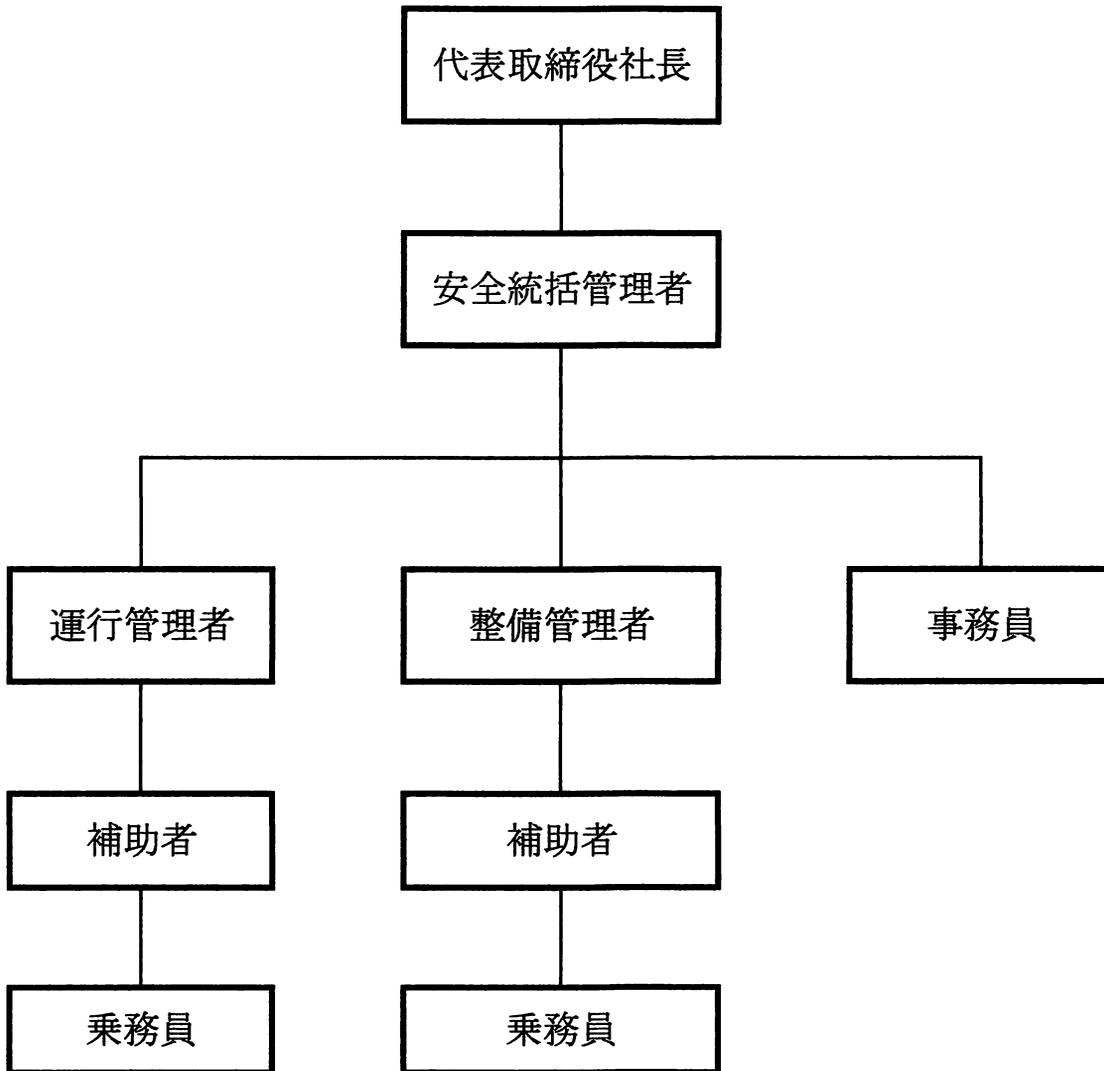
1. 法令・規定を順守し、安全最優先で職務を遂行します
2. 運輸安全マネジメントを継続して推進します
3. 輸送の安全に関する設備投資を実施します
4. 健康管理の取り組みを推進します
5. 輸送の安全に関する情報は積極的に公表します

輸送の安全に関する目標と達成率

1. 交通事故による死亡・重傷者撲滅
2022年度 発生 0件
2. 運行状況の確認・・・デジタコを活用した法定速度遵守状況確認
2022年度 速度超過取締 0件
3. 整備不良による事故防止・・・日常点検の徹底履行
2022年度 整備不良に起因する事故発生 0件
4. 乗務員の労務管理の徹底・・・拘束時間、運転時間、休憩時間、休息時間等
2022年度 労務違反 0件
5. シートベルト着用による乗客保護・・・出発前車内案内、目視着用確認
2022年度 シートベルト非着用による取り締まり違反 0件

運輸安全マネジメント・社内組織

株式会社 麻生交通



本社対策本部

- ① 対策本部長を援け、各班との情報収集、連絡応答にあたる。

広報担当・情報収集担当

- ① 報道関係全般を担当。
- ② 報道機関への連絡、途中経過の発表内容、発表のタイミングの検討や準備を行う。
- ③ 重要な情報を整理し、対策本部長との連絡調整を行い記者会見を開催。
- ④ 事件の経過を時系列的に全てを記録に残す。
- ⑤ 各警察の対策本部、消防署、道路管理者との連絡応答。

関係官庁対応担当

- ① 情報収集班と連携を密にし、情報収集に努める。
- ② 九州運輸局や所轄運輸支局に状況を速やかに適宜報告。
- ③ 関係バス協会にも状況を速やかに報告。

乗客(家族)対応担当

- ① 情報収集班・現地対策班と連携を密にして、被害者である乗客やその家族の情報収集に努めると共に、家族に現状を報告。
- ② 家族のホテルや乗車券の手配等を実施。
- ③ 解放された乗客や家族に対するお見舞い。

現地対策本部

- ① 所轄の警察署と連携を密にし、情報収集に努める。
- ② 事件の推移により、現地対策班が複数設置される場合もあるが、互いに連絡し情報交換を実施。
- ③ 情報は速やかに対策本部の情報処理班へ報告し、常に連絡・調整を行う。

現地情報収集班

- ① 全ての情報を収集し、その情報を整理し現地対策本部へ報告する。
- ② 乗客情報の収集。(乗客数、乗客名簿、負傷の程度など)

現地輸送・復旧班

- ① 救援車両や家族を現地に送る車両の手配・準備。
- ② 現地に派遣する為の整備要員や必要工具の準備。
- ③ 被害車両の構造面の情報把握。
- ④ 非常用器具を携行して現場に急行し、関係官庁の許可を得て車両引上げその他復旧を行う。

重大事故等発生時の連絡体制表

株式会社 麻生交通

